

発言No.

受付No.

17

令和6年11月20日

19時 28分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 5 番

氏名 沖田真治

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会长 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. まち・ひと・しごと創生総合戦略について

第2次石破内閣が発足され首相より「私も先頭に立ちまして、この地方創生、一丸となって実現をしたいと思っております。」と推進していく方針が示された。本市において令和3年2月には「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス」を策定され「若者が暮らしやすいまちづくり」をキャッチフレーズに人口減少対策と新たな生活様式に向けた取組を打ち出された。

浜田市長として地方創生をどのように捉え実行していくのか？総合戦略に基づく取組は、どのように市民生活に結び付き抱えている課題を解決していくのか？と考え以下のとおり質問する。

(1) 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働く取組について

- ① 市内事業所に対し、地域の特性に応じた支援としてどのようなことを行っているか伺う。
- ② 新規創業も稼ぐ地域に重要な役割を果たす。市として、現在順調に成果が出ている新規創業を今後、どのように考え支援を行っていくのか伺う。
- ③ 地場産業の振興において、域外マネーを地域で循環させる仕組みづくりが重要であると思うが市としての考え方を伺う。

(2) 子どもを安心して産み育てる環境をつくる取組について

- ① 市内における子育て拠点整備は概ね出来上がり、利用者も目標値を上回り、進捗評価は高い状況となっている。施設が整備された後、どのような支援が必要と考えているのか伺う。
- ② 子育て環境において、子どもが学校へ通う通学路の安全確保は重要であり、本市が取り組む通学路等緊急安全対策事業、歩道整備事業は継続的に行っていくべきである。市として事業の継続をどのように考えているのか伺う。
- ③ 多様な働き方や福利厚生の充実した企業という点において、都会地と比べ地方は圧倒的に不利な状況にある。本市において多様な働き方、福利厚生の充実を図ることが多くの課題解決につながると考える。浜田市独自の支援策について検討する気はないか伺う。